

# 入 札 説 明 書

令和2年札幌市告示第4590号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日 令和2年8月17日

## 2 契約担当部局

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市人事委員会事務局調査課公平係（電話 011-211-3147 FAX 011-211-3148）

## 3 入札に付する事項

(1) 役務の名称 人事委員会事務局ファイルサーバの借受

(2) 調達案件の仕様等 仕様書による。

(3) 納入期限及び借受期間

ア 借受期間 令和2年11月1日から令和7年10月31日までとする。

ただし、本調達は、地方自治法第234条の3に規定する長期継続契約のため、契約を締結する日の属する年度の翌年度以降において、本調達に係る予算の削除又は減額があった場合には、契約を解除することがある。

イ 納入期限 令和2年10月30日

(4) 履行場所 上記1の契約担当部局

(5) 入札方法 月額で行う。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望月額額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 4 入札参加資格

(1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 平成30～平成32年度札幌市競争入札参加資格者名簿(物品・役務)において、業種が大分類「一般サービス」、中分類「物品賃貸業」に登録されている者であること。

(3) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者(手続開始の決定後の者は除く。)等経営状態が著しく不健全な者でないこと。

(4) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が、構成員単独での入札参加を希望していないこと。

(5) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。

(6) 告示日を起点とした過去5年間に於いて、本市その他の官公庁と同種(OA機器の借受)契約の履行実績があること。

## 5 入札書の提出方法等

(1) 契約条項を示す場所及び問い合わせ先

上記2及び札幌市公式ホームページ上に掲載

<http://www.city.sapporo.jp/jinji-iinkai/keiyaku/keiyaku2.html>

(2) 入札書の受領期限

令和2年8月26日(水)17時00分

※上記2の契約担当部局まで持参又は送付(必着)

(3) 入札書の提出方法

ア 入札書は別紙1（共通-第7号様式）にて作成し、直接提出する場合は封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその名称及び商号）及び「令和2年8月27日10時00分開札【人事委員会事務局ファイルサーバの借受】の入札書在中」の旨を記載し、上記2宛に入札書の受領期限までに提出すること。

イ 送付により提出する場合は二重封筒として、外封に「令和2年8月27日10時00分開札【人事委員会事務局ファイルサーバの借受】の入札書在中」の旨を記載し、上記2宛に入札書の受領期限までに送付すること。

なお、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。

ウ 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(4) 調達案件の仕様等に対する質問及び回答

ア 提出方法

書面による持参、送付又はファクシミリにより提出すること。

イ 提出先及び提出期限

上記2の契約担当部局へ、上記1の告示の日から令和2年8月20日（木）までの午前8時45分から午後5時15分までの間で提出すること（必着）。

ウ 回答の方法

質問を受理した日の翌日から起算して2日以内（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。）に質問及び回答の内容を、札幌市公式ホームページ（(1)参照）に掲載する。

なお、本件入札に直接関連する質問に対してのみ回答を行うものとし、全ての質問に回答するとは限らない。

(5) 入札の無効

ア 本説明書に示した競争参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札その他札幌市契約規則第11条各号の一に該当する入札は無効とする。

イ 札幌市物品・役務等事務取扱要領第13条に定める入札参加資格の審査書類の提出の指示があったにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札は無効とする。

(6) 入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。

ア 入札者が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき

ウ 調達を取りやめ、又は調達内容の仕様等に不備があったとき

(7) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名又は名称及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印（外国人の署名を含む。）をしておくとともに、別紙2（共通-第8号様式）の委任状を入札書とともに郵送または持参により提出しなければならない。

イ 入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

(8) 開札の日時及び場所

令和2年8月27日（木）10時00分

札幌市役所本庁舎 4階人事委員会会議室

(9) 開札

ア 開札は、入札者又はその代理人は立ち会うことができる。

イ 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。

7 その他

(1) 入札保証金 免除

(2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、契約金額の1年間に相当する額の100分の10に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定の日の翌日から起算して5日後(5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日)までに、納付し、又は提供しなければならない。なお、指定期日までに納付又は提供がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第25条各号の一に該当するときは、契約保証金を免除することができる。

(3) 落札者の決定方法

ア 落札者の決定

札幌市契約規則第7条の規定の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内で、最低価格をもって入札(有効な入札に限る。)を行った者を落札候補者として、落札を保留のうえ下記の審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

イ 入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であることを審査(事後審査方式)する。

落札候補者は、入札執行者の指示があった日(原則として開札日)の翌日から起算して3日以内(土曜日、日曜日及び休日を除く。)に、入札説明書に示す書類(下記(5)参照)を提出しなければならない。

なお、指定期限までに提出がない場合は、当該落札候補者による入札を、入札参加資格のない者のした入札と見なし無効とする。

ウ 入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記イの審査の結果、落札候補者が入札参加資格を有しない者であることを確認した場合は、その者のした入札を無効とする。この場合には、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を、新たな落札候補者として、上記イの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続を繰り返す。

エ 同額抽選

落札者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

(4) 入札者に要求される事項

ア この一般競争入札に参加を希望する者は、上記4に掲げる競争入札資格を有することを証明する書類を、入札関係職員の求めに応じ提出しなければならない(上記(3)イ参照)。また、当該書類に関し説明を求められた場合は、それに応じなければならない。

イ 入札参加者は、本入札説明書、仕様書、契約書案等について、疑義がある場合は、関係職員に説明を求めることはできるが、入札後は、これらの不明を理由として異議を申し出ることにはできない。

- (5) 入札参加資格を有することを証する書類  
一般競争入札参加資格確認申請書（上記4(6)に定める資格を有することを証するものを添付すること。）
- (6) 落札の取消し  
落札者が次のいずれかに該当するときは、当該落札を取り消すものとする。  
ア 契約の締結を辞退したとき、又は市長の指定した期日以内に契約を締結しないとき。  
イ 契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに契約保証金を納付しないとき。  
ウ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。  
エ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。
- (7) 契約書の作成 要  
ア 競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、原則としてその5日後までに契約書を取り交わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。  
イ 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の交付を受けてこれに記名押印するものとする。  
ウ 上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。  
エ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。
- (8) 契約条項 契約書案のとおり
- (9) 入札参加資格が認められなかった者に対する理由の説明  
入札参加資格が認められなかった者は、本市に対して入札参加資格が認められなかった理由について、原因となった事実を知り、又は合理的に知り得たときから10日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、次に従い、書面（様式は自由）により説明を求めることができる。  
ア 提出場所 上記2に同じ  
イ その他 提出は持参することにより提出するものとし、送付又は電送によるものは受け付けない。